

令和5年度 南城市幼小連携事業  
【馬天小学校1年生授業参観及び振り返り(意見交換)記録簿】

- 1 日 時 令和5年4月20日(木) 8時10分～9時30分 15時～16時30分
- 2 場 所 南城市立馬天小学校1年生教室及び図書室
- 3 授業者 1年1組 水城かおり 在籍25名、1年2組 佐久本香織 在籍25名
- 4 参加者 園長3名 主幹1名 保育者8名 行政4名 合計16名 <午後13名>
- 5 授業者の振り返り

〈1組担任〉

スタートカリキュラム実施前は、1からのスタートで、カバンの置き方、トイレの使い方、給食の仕方等を先生が教えていた。今は、子どもから聞きながらひとつひとつ進めている。

子ども達も喜んで話してくれる。泣いて登校する子はいない。

朝から体を動かしているので担任もクタクタだが楽しんでいる。子ども達も疲れているのか5校時をスタートしたら寝ていた。子ども達の様子を見ながら進めていきたい。

宿題も子どもの実態に合わせて出していく。まだ文字に抵抗する子が2名程度いるため線遊びを宿題にしている。

〈2組担任〉

1年生を担当するのは10何年振りである。一緒に踊ったりゲームしたりして正直クタクタになるが楽しく過ごしている。幼稚園、保育園、こども園でやってきたことを聞き出しながら進めている。

子ども達も「保育園でこんなしてやったよ～」「幼稚園ではこんなしてやったんだよ！」と得意げに話してくれる。子ども達から聞き取りながら進めていきたい。

6 授業参観シートの視点から意見交換

①一年生が楽しく過ごしている場面(成長を感じる場面)感想

〈保育者〉

- ・のんびりタイムは一人一人が好きな遊びをして生き生きしていた。片付けもジャンボリミッキーの曲で楽しみながらやっていた。
- ・めばえ保育園から一人の入学だったので心配していた。登校して不安そうな顔していたが踊りの時からは楽しく遊んでいた。
- ・踊りやゲームに入れない子が1組1名、2組3名いたがいつもそうなのか知りたい。
- ・保育園はゆっくりとしたリズムで生活が進めているが小学校はテンポが速いと感じた。
- ・体を動かしてから授業に移るのは子供たちにとって入りやすいのいいと感じた。脳が活性化するので自園でも朝登園すると体を動かすような取り組みをしている。
- ・保育園からあこがれを持って入学しているのでその様子を見ることができてよかった。子ども達にとって教室が居場所になっていた。
- ・「いただきます」の仕方など保育園やこども園でやったことを子どもに聞きながら進めていたので良かった。
- ・授業するイメージだったが子どもたちがいきいきしていた。めだか保育園から一人の入学で心配していたがにこにこしていたので安心した。
- ・六角のテーブルが置かれて会話を楽しんでいた。片付けも曲が終わるまでやる工夫がなされていて良かった。
- ・途中トイレへいく子が多いので気になった。保育園では何か始まる前にいかせている。
- ・保育園と同じような雰囲気できいききとしていた。子どもたちに考えさせているところが良かった。
- ・小学校は二人掛けが普通と思っていたが3人掛けはどんな意図的があるか。





#### 〈一年担任〉

- ・机の並びが3人掛けにしているのは、友達同士助け合えるようにしている。真ん中に助けを要する子を入れている。
- ・天気の良い日は、外で竹馬やフープ、縄跳び遊びなどして過ごしている。今日は雨天のため教室内で環境を準備した。
- ・給食やカバンの置き方など、「保育園や幼稚園などではどんなふうにしていた？」と子どもに聞きながら進めている。子どもたちは喜んで「くわっちい さびら」とか園での「いただきます」の仕方をやってくれる。保育園や幼稚園のやり方を担任も楽しみながら、一年生のやり方を子どもたちと考えていきたい。
- ・配膳や当番の仕方も上手である。皆さんが育てていただいたお陰です。
- ・登校しぶりは今のところない。不安そうに緊張している子が何名かいるが、遊んでいるうちにほぐれている。
- ・踊りやゲームに入れたい子は様子を見ながら誘って今は無理強いしていない。
- ・担任も一緒に踊ったりしてクタクタになるが一年生と楽しんでいる。

#### 〈校長〉

- ・今まで勤務していた学校では、一年生が校門や玄関で泣いている姿がよく見られたが、馬天小学校ではそのような姿が見られない。少々のしぶりは見られるが気になるほどではない。遊びを通して満足することで、他者への関心へ向かう。保育園、幼稚園等で年長児としてできる子たちが一年生になってできない存在になっていたところがあったので、自分たちはできる！を伸ばしていきたい。心理的な居場所が物理的な居場所になる。学校の風景が変わったと思う。

### ②教室の環境や教師の援助で良かったところ

#### 〈保育者〉

- ・プレハブの狭い中、廊下も使って工夫して遊ぶ場所を確保しているので良かった。
- ・出席確認を♪「〇〇さん」♪「元気です」と楽しみながら、わくわくしてやっているのは良かった。友達の名前も覚えて関係づくりができる。
- ・遊びが保育園と同じなので安心しているようだ。
- ・一年生の先生方が園と同じように、子ども達から引き出しながら進めていたので子ども達も安心していると思う。
- ・黒板に分かりやすく一日のスケジュールの表示があり、行動しやすいと思った。
- ・黒板に登校したらやることが表示してあり、子どもたちはそれを見ながら名札付け、宿題と連絡帳を出す、カバンを片づけるなど手順よく行っていた。
- ・園では踊りも子どもに聞きながらゆっくり進めているが、学校では次々違う踊りが画面から流れてくるのでテンポが速いと感じた。
- ・教室の真ん中にテーブルが配置され、会話を楽しんで好きな遊びができる環境はいいと思った。
- ・片付けもジャンボリミッキーの曲が終わるまでにきれいに片付いていた。
- ・体を動かしてから授業に入るのは脳が活性化するので良かったと思う。
- ・教室に年間行事の学校紹介があり、見通しが持てるのでいいと思う。



### ③その他気付いたことや感想

Q：園では、給食時のエプロンは前結びでやっていたが学校ではどんなエプロンか？

A：低学年はやけどを防ぐ意味から割烹着のエプロンを使用している。結構熱いので注意している。

Q：園ではひもを結ぶ指導を兼ねて前結びにしている。支援員はどんな子につけているか。

A：教室から飛び出す子は危険を伴うので支援員をつけている。

Q：給食時間、子どもたちが食べる時間はどのくらいとっているか？

A：だいたい20分間で食べ終わるようにしている。

今度の一年生は、よく食べる。食缶を傾けて入れるくらいカラになる。「これ、食べれない・・・」と食わず嫌いの子には「一口味見してみようね」と一口からすすめている。今はおしゃべりもいいことにしているので楽しく食べている。

保：園でも、卒園までには30分間で食べ終わることを目指している。楽しく食べているようで安心した。

Q：幼稚園や保育園で何か披露する機会を持っているのかな？

A：保育園等では誕生会や発表会等でみんなの前で歌、踊り、得意技等を披露する機会がある。

・保育園の先生を見つけ抱きついていく子が見られた。この時期の参観で子どもたちも園の先生に一年生になった姿を見てもらいたい！「一年生になったよ！見て！」と笑顔が微笑ましかった。幼児教育施設の先生方と一年生の先生方の頑張りを感じた。今の時期、親にもスタートカリキュラムの取組を見せてあげるといいと思った。

・今日の子どもの笑顔を見て安心して一年生のスタートを切っていると感じた。一年の先生方がスタートカリキュラムの実施で様々な工夫をなさっている。例えば、ゲームでも「一年生なぞなぞだよ」の先生の言葉に子どもたちの目がキラッと光った。少し難しい問題をだすことで「一年生になった」と自覚しているように見えた。

好きな遊びや踊り、ゲーム等で違う保育施設から来た子と関わり、友達との関係づくりや安心につながっていると感じた。

#### <教頭>

・このような意見を交わす場がもらえるのはありがたい。課題の解決・改善につなげていけると思う。

#### <行政>

・これを機会に気軽に保育や授業の参観ができ交流し合えるといいと思う。

相互の教育の方法の違いが分かり幼児教育と小学校教育の理解につなげるといいと思う。

・地域の方が学校に気軽に入れるような取り組みができたらいいいと思う。

#### <学校>

・このように集まるといいアイデアがある。今後も情報交換の場を持っていただけたらいいと思う。

先生方の指示の仕方も変わってきた。子ども達にとって分かりやすい環境作りをしていきたい。

